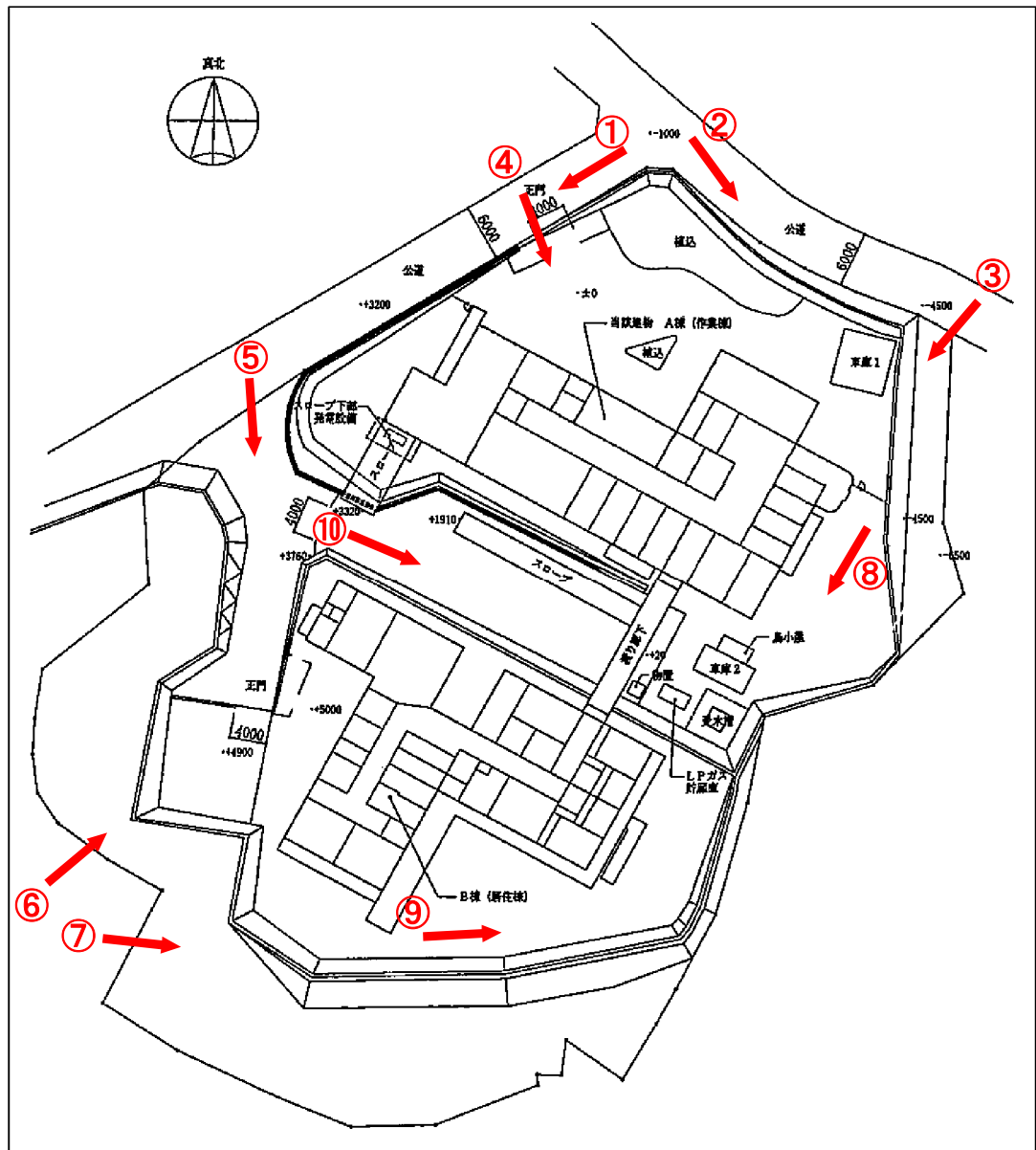







敷地の現況

当該敷地は、約5mの高低差のある2段に造成された地形で、北側に低いエリア、南側が高いエリアとなっており、敷地の周囲はコンクリート擁壁や石積み擁壁で構築されている。道路は北側及び北西側に6mの道路が接している。既存建物はRC造2階建てが北側の低いエリアと南側の高いエリアに建っており、渡り廊下で接続されている。



	<p>① 歩行者及び車両の出入り口は当該道路に面し、下の段と上の段の2ヶ所がある。道路はかなり急勾配で防滑舗装となっている。</p>
	<p>② 敷地北側の接道部分は、コンクリート擁壁となっている。道路は東に向かって下っている。</p>
	<p>③ 北側接道部分から東側の隣地境界部分はかなり高いコンクリート擁壁となっている。擁壁自体は目視では構造上の問題は見受けられない。</p>
	<p>④ 北側A棟のアプローチ部分。</p>
	<p>⑤ 南側B棟のアプローチ部分 通路に傾斜があるため、防滑舗装仕様となっている。</p>

	<p>⑥ B棟エントランス及び駐車スペース。</p>
	<p>⑦ 南側隣地境界部分の石積み擁壁。</p>
	<p>⑧ 東側の空地より、南側の擁壁を見る。 石積み擁壁がB棟の東～南～西面を取り 囲んでいる。</p>
	<p>⑨ 南側の石積み擁壁。</p>
	<p>⑩ A棟とB棟との間。2棟を渡り廊下で接続 されている。</p>